

トークセッション

女性アーティストが親になる時

6月22日

13:00~15:00

[会場] 東京藝術大学 上野校地
音楽学部 5-109教室

[対象] どなたもご参加いただけます
入場無料・申込不要

WHEN
AN ARTIST
BECOMES
A MOTHER

[スピーカー]



岡田裕子 (美術家)

HIROKO OKADA

映像、写真、絵画、インスタレーション、パフォーマンスなど、多岐に渡る表現を用いて、自らの実体験——恋愛、結婚、出産、子育てなど——を通してリアリティのある視点で、現代社会へのメッセージ性の高い作品を制作。7月10日(水)よりミヅマアートギャラリーにて個展開催予定。



長島有里枝 (写真家)

YURIE NAGASHIMA

武蔵野美術大学在学中に「アーバナート #2」展でパルコ賞を受賞しデビュー。1999年、カリフォルニア芸術大学MFA修了。2001年に写真集『PASTIME PARADISE』で第26回木村伊兵衛写真賞受賞後、出産。子育てと両立できる表現を模索し、2010年には短編集『背中への記憶』で第26回講談社エッセイ賞を受賞するなど、写真の枠組みにこだわらない制作を継続中。7月13日より、群馬県立近代美術館で竹村京さんとの二人展「まえといま」を開催予定。



山本麻世 (美術家)

ASAYO YAMAMOTO

1980年東京都生まれ。多摩美術大学大学院美術学部工芸科修了後、2005年から2008年までヘリットリートフェルト・アカデミー陶芸学科(アムステルダム)、2008年から2009年までサンドベルグ・インスティテュート、ファインアート学科(アムステルダム)に在籍。オランダや韓国でアーティストインレジデンスを行い、2011年「六甲ミーツアート芸術散歩2011」で公募大賞特別賞彫刻の森美術館賞を受賞。2012と2015年「越後妻有大地の芸術祭」にて発表。

子どもを持つことは、アーティストの創作活動にどのような影響をもたらすのか？

なぜ、女性アーティストの方が男性アーティストよりも作家活動と子育ての「両立」に苦勞するという構図が今でもあるのか？

国内外で活躍するアーティストたちが自らの経験を語ります。

お子様同伴OK!

[主催・お問合せ]

東京藝術大学ダイバーシティ推進室

<http://diversity.geidai.ac.jp>

diversity@ml.geidai.ac.jp

